

2014（平成26）年度

第1回 入学試験問題

社 会

（30分，70点）

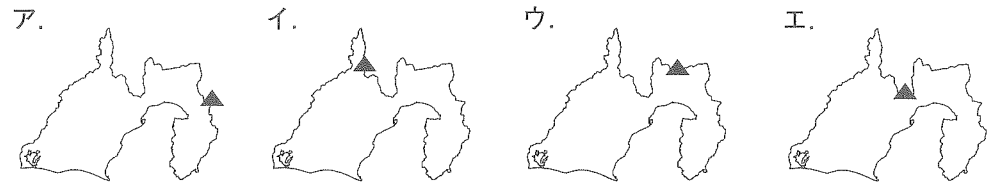
受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで，問題用紙を開かないでください。
2. 問題は ①～③ まであります。
3. 各問題とも，解答は解答用紙（別紙）の所定の欄に記入してください。
4. 解答用紙には受験番号，氏名を必ず記入し，最後にもう一度確認してください。

1 次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

中部地方の静岡県は、本州のほぼ中央に位置し、東部は神奈川県に、西部は愛知県に接し、南部は太平洋に面している。北部には、a 富士山や赤石山脈などの高い山々がそびえている。古くから関東地方と関西地方を結ぶ重要な位置にあり、江戸時代にはb 東海道が整備され、多くの宿場町が存在した。現在は、東海道新幹線をはじめとした鉄道や、東名高速道路が太平洋沿岸に整備されている。これらの周辺には、東海工業地域が広がり、輸送用機械のほか、食料品や（ 1 ）工業、プラモデルを生産する工場が立地する。また、気候や地形の特色をいかしたc 農業もさかんである。水産業に関しては、（ 2 ）湖でうなぎの養殖がさかんで、焼津港は日本有数の漁港となっている。

(1) 下線部 a について、富士山 (▲) の位置として、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。



(2) 下線部 b について、江戸時代に書かれた旅行記『東海道中膝栗毛』の著者名として、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 十返舎一九 イ. 歌川広重 ウ. 松尾芭蕉 エ. 本居宣長

(3) 空欄 (1) にあてはまる、木材をつかった紙の主原料をカタカナ3文字で答えなさい。

(4) 下線部 c について、次の写真は、静岡県内で撮影したものである(撮影時の季節は秋)。写真にうつっている、静岡県の特産品は何か。また、その収穫量の割合をまとめた、次の表中の空欄 A にあてはまる県名を答えなさい。

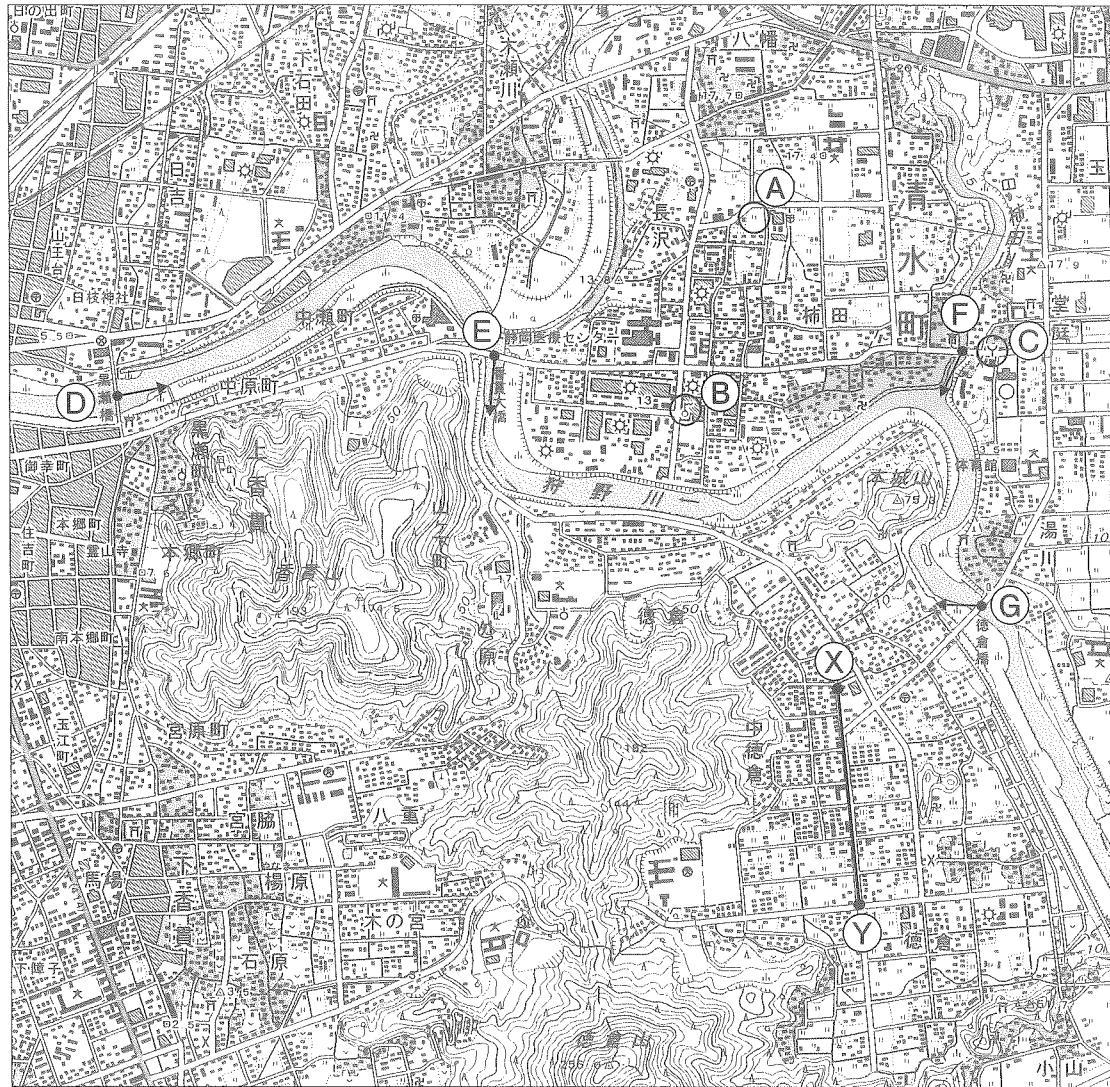


	2011年	%
1位	静岡	40.8
2位	A	29.0
3位	三重	9.0
4位	宮崎	4.5
5位	京都	3.5

【『データでみる県勢 2013年度版』】

(5) 空欄 (2) にあてはまる、適切な語句を答えなさい。

(6) 伊豆半島北部に位置する、静岡県清水町付近の地形図を見て、各問いに答えなさい。



〔国土地理院発行 25,000分の1地形図 三島〕

① この地図の地域についての説明として、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. この地形図中には、小中学校はあるが高等学校はみられない。
- イ. この地形図中で最も標高が高いのは、香貫山かぬきやまの山頂で標高174.5mである。
- ウ. この地図の中央部で、狩野川かのがわは西に向かって流れている。
- エ. 地図中の⑩-⑪間は地図上で3cmであるが、実際の距離は1.5kmである。

② 写真1～3の撮影場所①～③の組み合わせとして、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

写真1



写真2

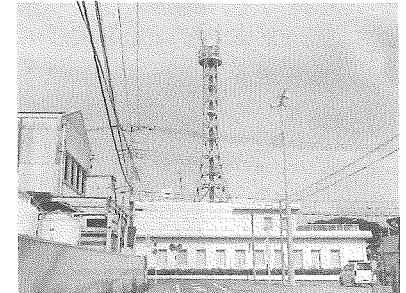


写真3



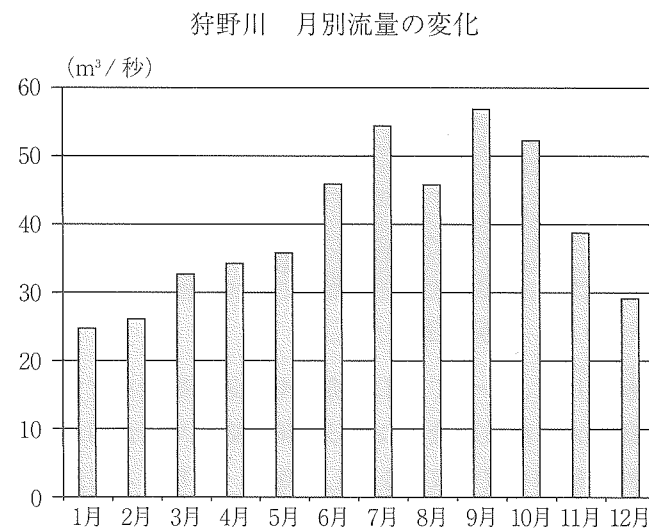
	①	②	③
ア	写真1	写真2	写真3
イ	写真2	写真3	写真1
ウ	写真3	写真1	写真2
エ	写真1	写真3	写真2

③ 地図中の柿田川かきたがわは、かつては工場排水や周辺の開発などで、川の水は汚染されていたが、全国の人々から募金をつのって川を守ってきた。このような、募金をつのり美しい自然や建物を買収するなどして保全・管理する市民の運動を何というか。カタカナで答えなさい。

- ④ 次の写真は、地図中の㊸～㊻地点のいずれかから撮影したものである。正しいものを1つ選び、記号で答えなさい（矢印は撮影した方向を示している）。



- ⑤ 河川の水量は一年中一定ではない。次のグラフは、狩野川の徳倉橋付近で観測した、月別流量（河川の水の量）の変化をまとめたものである。このグラフより、3月～5月、6月～7月、9月ごろに流量が増えることが分かる。9月ごろは、台風の通過にともなう大雨で水量が増加したと考えられる。3月～5月、6月～7月に河川の水が増える理由を、それぞれ説明しなさい。



〔国土交通省 水文水質データベース〕

- ② 次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

a 鉄器が見られるようになるのは弥生時代からであるが、b 古墳時代になると畿内やその周辺地域の古墳に、鉄製のc 農耕具や武具が大量に発見される。このことはヤマト政権の豪族が多くのd 渡来人を抱え、彼らの技術を独占していたことを物語る。

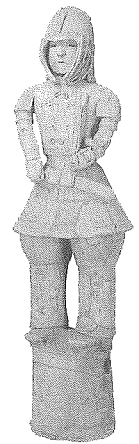
鎌倉時代になると、鍛冶職人などの手工業者が独立するようになり、武士の要求に応じて、刀剣やかぶと・よろいなどの武器・武具を作る有名な職人も現れた。さらに16世紀から17世紀にかけて、(1) 貿易によってe 鉄砲が日本にもたらされると、これまでの刀鍛冶が鉄砲生産へ移っていくようになる。

幕末になると、全国の各藩ではf 軍制改革の1つとして、洋式兵器の生産に乗り出す。佐賀藩では全国に先がけて反射炉を築き、大砲をつくった。

明治維新後、政府は近代的産業を発展させるため、1870年工部省を設けて、g 国内産業の育成を推し進めた。製鉄業では、軍事目的を中心とした展開を見せるが、特に重要なのはh 官営の製鉄所の創設で、その後のi 国内産業の中心的存在となった。

- (1) 下線部aについて、鉄器とほぼ同じ時期に日本に伝わった金属器とは何か、答えなさい。

- (2) 下線部bについて、古墳時代には右の写真にあるような、鉄製の武器やよろい・かぶとを身に着けた姿の武人の人形が作られた。このような人形を何というか、答えなさい。



- (3) 下線部cについて、古墳時代の農業の説明として正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 主に川に近い低湿地を耕作地として利用した。
- イ. 備中ぐわや千歯こきなどの農具の改良が進んだ。
- ウ. それまで未開だった台地などの耕作が進んだ。
- エ. 畿内や西日本に二毛作が普及した。

(4) 下線部 d について、この時渡来人によってもたらされたものとして正しくないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 養蚕^{ようさん} イ. 機織り^{はたお} ウ. 曆 エ. 茶

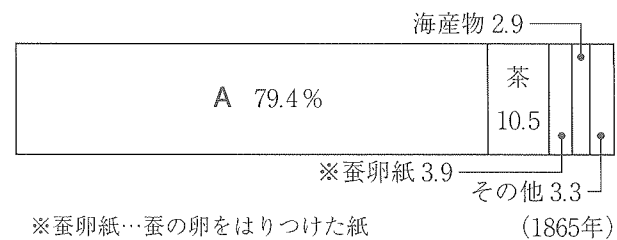
(5) 空欄 (1) にあてはまる語句として正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 長崎 イ. 南蛮 ウ. 日明 エ. 日宋

(6) 下線部 e について、鉄砲をもたらしたのはどこの国の人か、国名を答えなさい。

(7) 下線部 f について、なぜ幕末に各藩での軍制改革が必要になったのか。その理由を、当時の国内・国外の状況をもとに説明しなさい。

(8) 下線部 g について、この時期、日本の輸出品目の割合を示した以下のグラフのうち、Aは何を示すか、名称を答えなさい。



〔『図説日本文化史大系』〕

(9) 下線部 h について、次の問いに答えなさい。

- ① 1901年に操業を開始した、この製鉄所の名称を答えなさい。
- ② この製鉄所の設置から始まり、発展をとげた工業地帯として正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 京浜工業地帯 イ. 中京工業地帯
ウ. 阪神工業地帯 エ. 北九州工業地帯

(10) 下線部 i について、日清戦争から日露戦争の時期に、生産のしくみが大幅に改革され、生産量が大きく成長した。このことを何と呼ぶか。漢字4字で答えなさい。

③ 次の文章を読んで、各問いに答えなさい。

日本列島は、(1) をはさみアメリカと向き合う地理関係にある。また、北から (2)・(3)・(4) をはさみ向き合うロシアや中国とは、まさに隣国同士である。a ここにあげた三国は、過去に政治体制や国家の名称を変えることもあったが、いずれも大国として国際政治で重要な役割を果たしてきた。

日本とそれら三国とは、それぞれに b 外交上の課題を抱えている。アメリカは日本の友好国だが、(5) 県に集中している c アメリカ軍基地への批判は強く、どのように基地負担の軽減を進めるかが両国の課題となっている。ロシアとは d 1956年の日ソ共同宣言で戦争状態の終結は確認されたものの、北方領土をめぐる対立のため、もう一歩踏み込んだ友好関係の証である平和条約を結べない状態がまだ続いている。経済成長著しい中国は非常に重要な e 貿易相手国であるが、外交関係は1972年の日中共同声明によって日中 (6) が実現してから今日に至るまで、最も溝が深まってしまっている。主な原因は、(7) をめぐるお互いの主張が対立している上に、歴史認識問題をめぐる対話が進んでいないことにある。

いずれの課題にも、日中戦争・第二次世界大戦やその後の冷戦構造により生み出された歴史的背景がある。私たちは、f 70年ほど前に終結した大戦を改めてふり返り、正確な知識を十分に得た上で、現在の外交上の課題に向き合っていく必要がある。

(1) 空欄 (1) ~ (4) に入る語句の組み合わせとして、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

	(1)	(2)	(3)	(4)
ア	日本海	太平洋	東シナ海	オホーツク海
イ	太平洋	日本海	オホーツク海	東シナ海
ウ	太平洋	オホーツク海	日本海	東シナ海
エ	東シナ海	オホーツク海	太平洋	日本海

(2) 下線部 a について、三国についての説明として、正しくないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 第二次世界大戦では日本やドイツを敵とした連合国側であった。
イ. 大統領制を採用している国である。
ウ. 安全保障理事会の常任理事国である。
エ. 核兵器を保有している国である。

(3) 下線部 b について、外交は三権のうちどこに属するか答えなさい。

- (4) 空欄 (5) に入る語句を答えなさい。
- (5) 下線部 c について、日本政府が国内に米軍駐留^{ちゅうりゅう}を認めた条約名は何か、答えなさい。
- (6) 下線部 d について、この宣言の後、日本はある国際機関への加盟が認められた。その国際機関の本部が置かれている都市名を答えなさい。
- (7) 下線部 e について、貿易を管轄^{かんかつ}する中央省庁名として、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
ア. 国土交通省 イ. 総務省 ウ. 外務省 エ. 経済産業省
- (8) 空欄 (6) には、「国同士の交流が公式に回復する」といった意味の語句が入る。漢字5文字で答えなさい。
- (9) 空欄 (7) に入る語句として、正しいものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
ア. 竹島 イ. 澎湖諸島^{ほうこ} ウ. 与那国島^{よなくに} エ. 尖閣諸島^{せんかく}
- (10) 下線部 f について、1946年に公布された日本国憲法は、その特徴^{とくちょう}から平和憲法とよばれる。その理由を2点説明しなさい。

2014(平成26)年度 獨協埼玉中学校第1回入学試験〔社会〕解答用紙

1	(1)		(2)		(3)					
	(4)	特産品名			県名		県			
	(5)									
	(6)	①		②		運動		④		
		③								
	(6)	⑤								

小計 1

2	(1)				(2)					
	(3)		(4)		(5)					
	(6)									
	(7)									
	(8)									
	(9)	①				②				
	(10)									

小計 2

3	(1)		(2)		(3)	権			
	(4)				(5)				
	(6)				(7)				
	(8)					(9)			
	(10)								

小計 3

合 計	
--------	--

受験番号		氏名	
------	--	----	--